

クラレ財団では公益財団法人大原芸術財団との協働で作家の創作活動支援や美術品の修復・再生を手掛ける人材の育成支援を行っています。

アルコ 芸術家を支援する ARKO (Artist in Residence Kurashiki, Ohara) の活動

ARKO とは

公募により選ばれた芸術家が倉敷に3カ月間滞在し、洋画家の児島虎次郎が1927年に建築したアトリエで自由に作品を制作する活動で、その作品は大原美術館で公開されます。児島虎次郎は、当社の初代社長である大原孫三郎に委嘱され大原美術館の収蔵品の多くを収集した人物です。2005年の開始以来、18名の芸術家がこのアトリエで創作に向き合い、その多くが現在も各地で活躍しています。クラレ財団は2017年からこの活動を支援しています。

芸術の発展へ貢献できる活動

芸術家にとって、広いアトリエは日ごろは制作が難しい大きな作品や新しいことにも挑戦できる特別な空間です。創作意欲も増し、今後のキャリアの幅を広げていくための機会になっています。

ARKO は内容が見直されているところで、来年からはさらに芸術の発展に貢献する活動となって続きます。



谷原さんによるワークショップを開催。教育普及活動

2023年のARKOに招かれた谷原菜摘子さん